

令和5年度 第2回南丹市地域公共交通活性化協議会

次 第

日時 令和5年8月22日（火） 地域公共交通会議終了後
場所 南丹市園部文化会館「アスエルそのべ」3階大研修室

1. 開会

2. 報告 令和5年度 南丹市地域公共交通計画策定支援業務の事業者について

3. 議題

- ・ 第1号議案 地域公共交通計画策定事業について
- ・ 第2号議案 南丹市地域公共交通計画策定に係るアンケート調査の実施方針について
- ・ 第3号議案 南丹市地域公共交通計画策定に係るワークショップの実施方針について

4. その他

5. 閉 会

地域公共交通計画策定事業について

1. 趣旨

公共交通は住民の生活を支える身近な交通機関として、必要不可欠な移動手段であるとともに、まちづくりの様々な分野で大きな役割を担うものである。

一方で、マイカーの普及や人口減少等の進展により、公共交通の利用者が減少する中、交通空白対策をはじめ、バスやタクシーの運転士不足等喫緊の課題が山積している。

これらの課題を解決し、持続可能かつ効率的で安定的な公共交通体系を構築するため、南丹市地域公共交通計画を策定する。

2. 地域公共交通計画策定事業について

(1) 計画の主な内容

- ・計画区域：南丹市全域
- ・計画期間：令和6年度から令和10年度までの5年間（令和5年度に計画策定）
- ・計画の対象とする交通：市内を運行する全ての地域公共交通等（鉄道（JR）、バス（JRバス園福線、京阪京都交通バス、南丹市営バス、ぐるりんバス、デマンドバスそよかぜ号）、タクシー、その他の個別輸送（交通空白地有償運送、福祉有償運送））

(2) 事業の主な内容

- ・圏域の現状調査（地域と交通の現状把握、上位計画等の整理）
- ・公共交通のニーズ調査（住民アンケート調査、市民等とのワークショップ）
- ・問題点の抽出、課題の整理
- ・計画の取りまとめ（基本方針等の設定、具体的な施策・事業の検討）

(3) 計画策定までのスケジュール

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
現状調査	■							
ニーズ調査	■							
問題点抽出、課題整理		■						
計画とりまとめ		■					■	■
パブリックコメント				■	■			
協議会開催	②		③	④			⑤	

計画の策定にあたって

計画策定の趣旨

マイカーの普及や人口減少等の進展により、公共交通の利用者数が減少する中、交通空白対策や高齢者の外出支援、バスやタクシーの運転士不足等、喫緊の課題が山積みしています。これらの課題を解決して、持続可能かつ効率的で安定的な公共交通体系を構築するため、南丹市地域公共交通計画を策定します。

計画区域

南丹市全域

計画期間

令和6(2024)年度
～令和10(2028)年度の5年間

対象とする交通

- 市内を運行する全ての地域公共交通等
- ・鉄道：JR西日本
 - ・バス：園福線、京阪京都交通、南丹市営バス、ぐるりんバス、デマンドバスそよかぜ号
 - ・その他：タクシー、交通空白地有償運送、福祉有償運送

<バスの補助の状況>

路線名等	(事業者)	国	府	市
園福線	(西日本JRバス)	○	○	×
八田線	(京阪京都交通)	○	○	○
神吉線	(京阪京都交通)	○	○	○
原・神吉線	(京阪京都交通)	○	○	○
南丹市営バス	(南丹市)	×	○	○
ぐるりんバス	(南丹市が委託)	×	○	○
そよかぜ号	(南丹市が委託)	×	×	○

南丹市の地域特性や公共交通の現状

- 人口**
 - 人口は、園部町、八木町、日吉町、美山町の順に多い／園部町の人口は、南丹市全体の1/2程度を占める
 - 令和2年時点の人口は約31,600人で、過去20年間で約16%減少している
 - 令和2年時点の65歳以上人口割合は約36%で、今後も増加する見通し／園部川の北側や八木駅の東側でも高齢者が多い
- 通勤通学**
 - 製造業や卸小売業、医療・福祉分野の就業者数が多く、農林業の就業者数の割合が全国平均に比べ高い
 - 市内通勤は6割、市内通学は8割を占め、市外への通勤通学先は、京都市や亀岡市が多い
 - 通勤通学の手段は、自家用車のみが6割以上に対し、乗り継ぎも含めた公共交通は2割以下
- 都市機能**
 - 都市機能は園部駅周辺に集中し、買物や通院の移動先も園部駅周辺が多い／園部駅周辺には大学・専修学校も立地
 - 通勤や買物、通院の交通手段は、ほとんどが自家用車利用
 - 平成27年度に小学校区を再編し、17校から7校へと統廃合を実施
 - 商店数や商品販売額が減少傾向にあり、身近な商業サービスが不足している
- その他のまちづくり等**
 - 定住促進アクションプラン策定など、地域特性を活かした定住促進施策が進められている
 - 定住促進のために力を入れるべき点として、医療や福祉面の充実、公共交通機関の充実、が多い。
 - 南丹市の住みやすい要因は、自然環境に恵まれている、近所づきあいがしやすい、医療や福祉サービスの充実、など
 - 南丹市の住みにくい要因は、鉄道やバスが不便、買い物など日常生活に不便、市外への通勤通学に不便、など
 - 美山かやがきの里は、国内外から多くの観光客が訪れるが、自動車来訪が多く、観光ピーク時期は駐車場が不足する

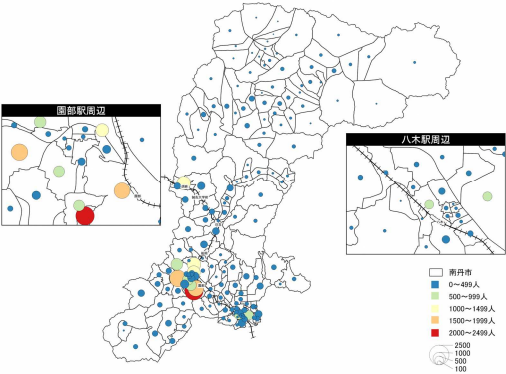
上位計画で示された課題の視点

- まちの持続的な発展を支えるコンパクトなまちづくりを進める必要がある
- 連携・交流型のまちづくりを進める必要がある
- 安全・安心で暮らしやすさを実感できる生活満足度の高いまちづくりを進める必要がある
- 身近な自然環境や歴史・文化資源、優れた景観などを活かしたまちづくりを進める必要がある
- 市民が主役となるまちづくりを進める必要がある
(以上、都市計画マスタープランより)

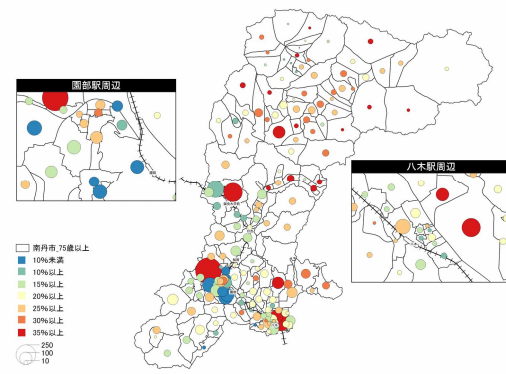
公共交通からの視点での課題

- 園部駅周辺と八木駅周辺の都市拠点を中心としたコンパクトなまちづくりを目指し、基幹交通及び生活交通のサービスの維持・充実が必要
 - ・園福線の運行本数を、コロナ前まで復便させたい。
 - ・ぐるりんバスはこのままで良いのか。
 - ・八木駅から住宅地への輸送は、そよかぜ号はニーズに合っているのか。
- 4町間の交流を促進や市外への通勤通学が便利になるために、基幹交通と生活交通の連携が必要
 - ・地域間の移動のために、JRとバスの連携が必要。駅機能などの拡充が必要。
- 人口減少等で過疎化が進んでいる美山町の集落等であっても、日常のお出かけ（特に買い物）を楽しめることができる公共交通サービスの維持・確保が必要
 - ・園福線や南丹市営バス等のサービスの維持・確保が最重要課題（必須条件）。
 - ・自家用有償旅客運送の維持や新たな導入など、地域が主役となるサービスの検討が必要。
- マイカー利用率・依存度の高いライフスタイルから、自家用車と公共交通利用を賢く選択し、市民が誇る「自然環境」を大切にできる交通行動の意識改革を図る必要がある
 - ・モビリティ・マネジメント。
- 美山をはじめとする観光振興・交流拡大に向けて、迷わず利用できる公共交通サービスの整備が必要
 - ・日本人・外国人を問わず、初めての来訪者でも安心して利用できる公共交通。

- 若年層の定住意向が低い
- 生活サービスの維持・充実による市民の暮らしの満足度向上
- 市街地中心部での若い若年人口の減少と空洞化
- 市街地中心部での人口集積の維持による生活サービスの維持
(以上、立地適正化計画より)



【南丹市の人口分布 (R2)】



【南丹市の75歳以上の人口分布 (R2)】

南丹市の地域特性や公共交通の現状

地域公共交通の現状

全般	公共交通利用者数の減少により公共交通のサービスレベルの維持・存続が厳しい
	運転手の高齢化及び運転手不足の問題が深刻化（特にタクシー）
	美山町の集落など、公共交通の不便な地域で、後期高齢者数や割合が増加 ⇒ お出かけが困難になる人が増える懸念
公共交通の空白地は、●●町の●●地域に点在している	
鉄道	JR山陰本線の八木駅、吉富駅、園部駅、船岡駅、日吉駅、鍼灸大学前駅、胡麻駅の7駅がある
	平成22年3月に、京都・園部間が複線化され、快速列車の増発、所要時間の短縮等、利便性が大きく向上
	日吉駅と胡麻駅は、交流スペースが併設されている
	令和3年春から、船岡～胡麻駅間の各駅でICOCAが利用可能(市内全駅で利用可能)／令和3年4月に八木駅橋上駅舎の供用開始
	園部駅から京都駅までは快速列車で30分程度で、京都市等の通勤圏にある
	園部駅は特急列車停車駅で市の玄関口（通勤時間帯の一部の特急列車で、日吉駅停車便もある）
	園部駅以北の運行本数は、園部駅以南の運行本数の半分程度で、市内で鉄道サービスの格差が生じている
駅業務は日中時間帯のみ対応している駅が多く、早朝や深夜は無人となる	
園部駅以北は単線であるため、普通列車は対向列車との行き違いや特急の追い抜きのための停車時間が増えた	
園福線	令和4年12月に西日本JRバスからの園福線の運行維持困難の申し出を受け、令和5年5月に代替交通手段の運行予定事業者を選定し（京都交通株式会社と有限会社中京交通）、令和6年4月以降の運行に向けて協議中
	通勤通学の利用がほとんどで、昼間利用が少なく、維持が困難な状況だが、京丹波町方面との交流を支える大切な路線
京阪京都交通	京阪京都交通は市内で7路線の運行があり、そのうち国の幹線補助を受けている系統は、八田線と原・神吉線
	市内の路線は八木駅と園部駅発着で、亀岡市への運行が大半である
バス	コロナにより利用者数が減少しており、特に●●路線の存続が厳しい状況にある
	南丹市営バスは、スクールバスの一般混乗を行いながら計16路線を直営で運行／主に日吉町と美山町で運行
	園部駅周辺では、民間事業者への委託によってコミュニティバス（ぐるりんバス）3路線を運行
	市民の生活交通確保のため、日吉・美山・八木地区においてデマンドバスを運行
	令和2年から、京丹波町の丹波日吉線が、胡麻駅、明治国際医療大学、日吉駅へ運行を開始
	令和●●年から、市営バスの運賃をゾーン運賃制に変更
	バス路線は、市内の主要鉄道駅と周辺の住宅エリアを結び、生活を支える交通ネットワークを形成
市内4地区では、公共交通サービスに差が生じている	
市営バスで日曜・祝日で運行しているのは、美山園部線を中心とした一部の路線のみ	
市営バス等の利用者数は、コロナにより大きく減少している路線もある／デマンドバスで、利用のない路線がある	
市営バスは、現金支払い（交通系ICカード未対応）、車内アナウンス無しなど、初めて利用する人にはハードルが高い	
その他	南丹市内に本社・本店を有するタクシー事業者が4事業者ある⇒京都タクシー、南丹タクシー、谷タクシー、京都みやび交通
	自家用有償旅客運送は、市営バスが交通空白地有償運送による運行している／福祉有償運送は、2団体が運行している



1枚目と2枚目の課題の案を要約・抜粋すると

- 都市拠点でのコンパクトなまちづくりの実現
- 交通結節点での乗換機能の確保、案内の充実、待合環境の充実
- 観光振興交流拡大、迷わず利用できる公共交通の整備

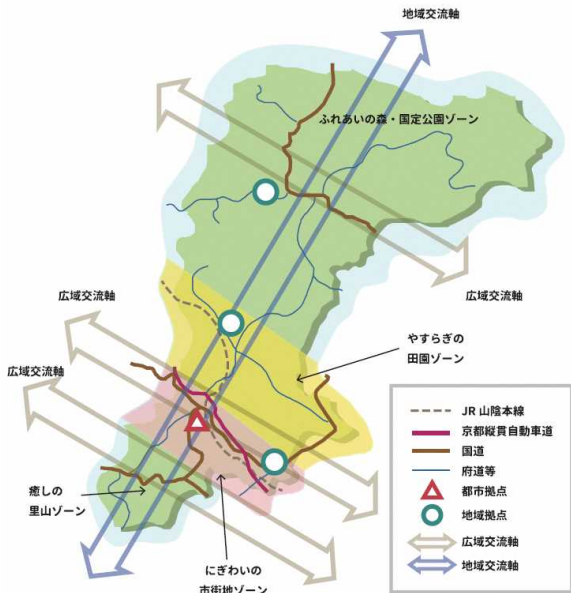
日常のお出かけのためのサービスの確保	交通行動の意識改革（行動変容）
生活便利施設へバスで移動できるサービスの提供	園部駅周辺の学生・若者が利用し たくなる公共交通の提供
地域特性やニーズに沿った公共交通サービスの提供	
4時間の交流を促進や市外への通勤通学の利便性確保	

上位・関連計画

第2次南丹市総合振興計画

- 将来像：森・里・街・ひとがきらめく ふるさと 南丹市
- 重点テーマ：定住促進（住み続けたいまち・住んでみたいまち）
- 基本方針：美しく快適なまちづくり【都市基盤】
 - 施策の方向：①JR山陰本線の複線化／②鉄道を活かしたまちづくり／③バス交通の充実／④多様な公共交通システムの整備
 - 市民に期待する取組：鉄道や路線バスを積極的に利用しましょう／きれいな駅を保つため、駅でのポイ捨てや路上駐輪をやめましょう／高齢化が進む集落も多く、みんなで助け合える地域交通システムを考えてみましょう
- 10年後のビジョン：人や環境にやさしい公共交通体系が充実し、誰もが外出しやすいまちをめざす

将来のまちのすがた構想図

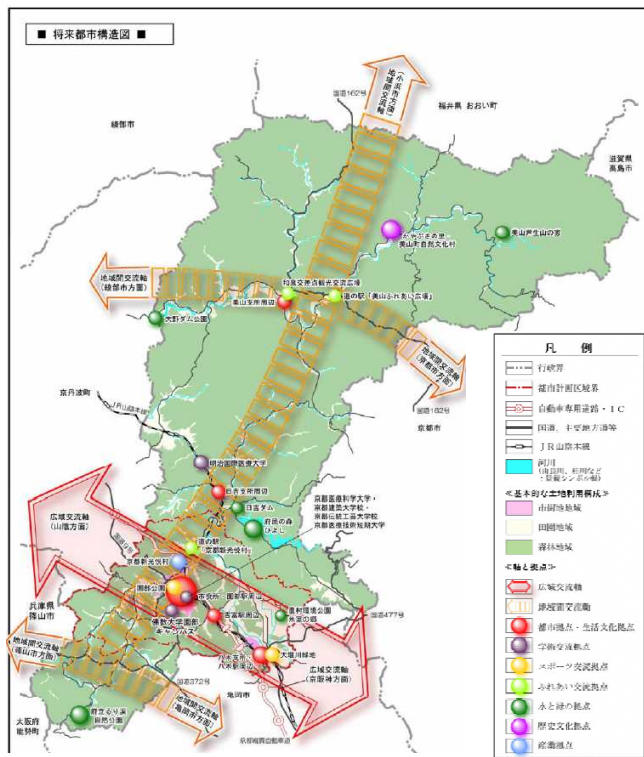


第2期南丹市地域創生戦略

- 基本目標：
 - ①しごとをつくり、そこで働くひとをふやす
 - ②南丹市への新しい人の流れをつくる
 - ③結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
 - ④誰もが安心して暮らし、活躍できる地域をつくる（★公共交通関連）
- 公共交通の施策：誰もが住み続けたい安心・安全な地域づくり
 - ・JR駅舎及び駅前広場の整備
 - ・地域公共交通の利便性向上
 (KPI：市バス利用者数を12.5万人/年を目標)

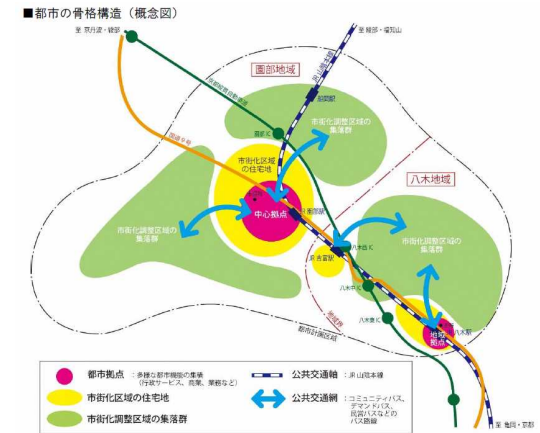
改訂版南丹市都市計画マスタープラン

- 将来都市像：つないで個性を磨く「住み続けたい・住んでみたいまち」
- 都市づくりの目標
 - ①計画的な土地利用、都市機能の誘導による持続可能なまちづくり
 - ②人と地域の交わりを支える快適なネットワークづくり
 - ③安全・安心で快適に暮らせる質の高い生活空間づくり
 - ④個性豊かな地域資源を活かした多様な拠点づくり
 - ⑤多様な主体の連携・協働による誇りと愛着を育むまちづくり
- 将来都市構造：下図
- まちづくりの基本方針：
 - ・土地利用の方針：持続可能でコンパクトなまちづくり、駅周辺の機能強化、身近な生活拠点を中心とした暮らしやすさの維持など
 - ・交通体系の整備の方針：公共交通を利用しやすい、ウォーカブル推進都市への転換など
- まちづくりの先導プロジェクト：
 - ・園部地区市街地中心部：園部町本町地区について、拠点となる施設の機能の充実、ユニバーサルデザインに基づいた歩いて楽しい空間づくりによる回遊性の向上などにより、地域生活の中心となる拠点地区の形成を図る
 - ・八木地区市街地中心部：八木駅周辺について、JRによる駅舎の改築に併せて、駅へのアクセス性の向上による交通結節機能の強化、駅の東西の交流促進を図る。市民の日常の移動手段として、環状型の公共交通サービスの運行を検討する。



南丹市立地適正化計画

- まちづくりの方針(ターゲット)：市街地中心部における、主に若年層を中心とした定住促進と生活サービス(公共交通サービス等)の維持・充実
- 目指すべき都市の骨格構造：多極ネットワーク型コンパクトシティの実現
 - ・園部地域と八木地域それぞれの市役所・支所及びJR園部駅・八木駅周辺を「都市拠点」と位置づけ、都市機能と居住機能を集積させ、生活に必要なサービスが身近にあるまちを目指す
 - ・「都市拠点」の周辺住宅地や市街地調整区域に点在する集落から、過度に自家用車に頼ることなく「都市拠点」にアクセスできる公共交通網を整備して、生活利便性が高く住みやすいまちを目指す
- 課題解決のための施策・誘導方針(ストーリー)
 - ・子育て環境の充実と生活利便性・安全性の向上：「都市拠点」内の都市機能と周辺住宅地を結び公共交通サービスの維持・向上を図る



JR山陰本線(園部～綾部)沿線地域公共交通計画

- 将来像：安全安心で豊かな暮らしの基盤となり、交流と定住を促進する「森の京都『おでかけ』システム」の実現
- 基本方針：
 - ①地域公共交通の重要性に関する認識をあらゆる主体・地域で共有し、協働して支え育む活動を活性化することで、地域公共交通システムを持続可能とする
 - ②JR山陰本線(園部～綾部)の複線化を視野に、まずコロナ禍等での減便からの回復を目指し、沿線全体の公共交通サービスを改善することで利用者を増やす
 - ③高校生・高齢者を主なターゲットに、自家用車に頼らなくても通勤・通学・買い物・通院でき、「健康」に暮らせる地域を目指す
 - ④鉄道駅・主要バス停の乗継利便性や待合快適性を高め、安心感があり立ち寄りとなる拠点へと変え、地域内外の交流を促進する
 - ⑤案内強化や MaaS 等によって公共交通を分かりやすくし、一体化を進めることで使いやすさを向上させ、特に観光での移動を便利で快適にする
 - ⑥まちづくりと連携した公共交通サービス改善によって「おでかけ」したくなる地域とすることで、コロナ禍を乗り越え、人口減少特に若年層の流出を食い止める

基本方針

基本方針を検討するにあたって

- 地域の個性や特徴に応じて計画の中身を検討するため、南丹市を複数のゾーンに分ける。
- 上位計画の「まちのすがた構想図」や現状の公共交通網や生活圏を参考に、①園部地区、②八木地区、③日吉・美山地区、の3ゾーンに分ける

	将来都市構造	主な公共交通	まちづくりの方向性
園部地区	にぎわいの市街地ゾーン コンパクトなまちづくり 都市拠点	園福線 京阪京都交通 ぐるりんバス	<ul style="list-style-type: none"> ・市の中心としての賑わいと活力のあるまちづくりや若者から高齢者まで全ての年代の人が住みやすい居住環境づくり ・園部駅の利用促進などにより、コンパクトで住みやすい生活環境の創出
八木地区	にぎわいの市街地ゾーン コンパクトなまちづくり 地域拠点	京阪京都交通 そよかぜ号	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な市街化や八木駅や吉富駅周辺の整備などにより、居住環境の向上を図り、恵まれた立地特性、交通特性を活かしたまちづくり ・八木駅の整備・利便性向上や近隣商業機能などの充実、周辺の田園環境と調和した魅力ある生活環境の創出
日吉・美山地区	ふれあいの森・国定公園ゾーン やすらぎの田園ゾーン ※JR山陰本線(園部～綾部)沿線地域公共交通計画での検討対象地域	市営バス そよかぜ号	<p><日吉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光レクリエーション資源や、緑豊かな山々に育まれた田園環境等を活かすため、緑や環境などに関する体験や講習会、健康づくりに関するイベントの開催などを通じて、多様な交流を育むまちづくり <p><美山></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人口、活力を維持していくため、芦生原生林や由良川をはじめとする自然環境や、かやぶきの里に代表される地域固有の歴史文化資産を活かした、個性豊かで活力のあるまちづくり

南丹市の公共交通に求められていること

持続可能な公共交通サービスの構築・実現を目指すために、南丹市の公共交通に求められること

- 1 都市拠点や駅と居住エリアをつなぐ
(主に園部・八木地区)
- 2 広大な市域に点在している集落での外出をささえる
(主に日吉・美山地区)
- 3 高齢者の安全・安心な暮らしをささえる
(暮らしの足の確保)
- 4 若年層を中心とした定住促進への寄与

(主な課題(要約・抜粋))

都市拠点でのコンパクトなまちづくりの実現
交通結節点での乗換機能の確保、案内の充実、待合環境の充実
観光振興交流拡大、迷わず利用できる公共交通の整備
日常のお出かけのためのサービスの確保
生活利便施設へバスで移動できるサービスの提供
地域特性やニーズに沿った公共交通サービスの提供
4町間の交流を促進や市外への通勤通学の利便性確保
交通行動の意識改革
園部駅周辺の学生・若者が利用しなくなる公共交通の提供

基本理念や基本方針

基本理念：目指すべき姿

第2次南丹市総合振興計画におけるめざすべきまちの将来像「森・里・街・ひとがきらめく ふるさと 南丹市」を実現するために、「住み続けたいまち・住んでみたいまち」にふさわしい地域公共交通をつくりあげる。

基本理念：公共交通のあり方

第2次南丹市総合振興計画で掲げるまちづくりの8つの基本方針の実現に向け、重点テーマの定住促進も意識して、南丹市の地域公共交通のあり方(公共交通にかかる基本理念/施策等の方向性)を以下に示す。

まちづくりの方針

- 1 つながりのあるまちづくり【人権・コミュニティ・協働】
- 2 健やかで幸せに暮らせるまちづくり【子育て・医療・福祉等】
- 3 学び楽しむまちづくり【教育・文化・スポーツ】
- 4 自然と共生したまちづくり【環境】
- 5 活力とにぎわいのあるまちづくり【産業振興】
- 6 安全・安心なまちづくり【危機管理】
- 7 美しく快適なまちづくり【都市基盤】
- 8 効率的・効果的な行財政によるまちづくり

南丹市の地域公共交通のあり方

- 地域のつながりの維持・活性化を支える公共交通
- 健やかでいきいきとした暮らしを支える公共交通
- ふるさとで学び続けることができる公共交通
- 豊かな自然と調和する公共交通
- 活力とにぎわいを促進する公共交通
- 安心して住み続けられる、安心して利用できる公共交通
- いつでも快適に暮らすことができるための公共交通
- 効率的・効果的な運行を行う公共交通

本計画の基本方針

南丹市のまちづくりや現在の課題等を踏まえると、南丹市の地域公共交通は「住みたい・住み続けたい」と思ってもらえる地域公共交通施策を進めていく必要がある。⇒【それぞれの地域の個性に応じて、住みやすいまちを支える地域公共交通をつくる】そのための本計画における基本方針を以下に示す。

- 方針1 園部駅や八木駅周辺を中心としたコンパクトプラスネットワークをつくる

 - ・都市拠点までのアクセス交通の充実・維持・確保(園福線、京阪京都交通、ぐるりんバス、そよかぜ号)
 - ・観光客向けのサイン整備など園部駅のわかりやすさの向上
 - ・シェアリングシステム等の新たな移動手段の導入検討(新技術の活用)
- 方針2 安心して快適に外出できる地域公共交通をつくる

 - ・園福線、京阪京都交通、市営バス、ぐるりんバス、そよかぜ号等の地域公共交通の維持・確保に向けた支援と利用促進活動
 - ・通勤通学時間帯の乗換利便性の向上/駅での待合環境の向上
 - ・住民ニーズにあわせたバスルートやバスダイヤの見直し(特にそよかぜ号)
- 方針3 みんなで支え愛着を育み持続可能な地域公共交通をつくる

 - ・モビリティ・マネジメントなどの利用促進活動/高齢者向けのバスに乗る練習会の開催
 - ・園部駅周辺の学生とのワークショップ/交通事業者やドライバーとの定期的なワークショップ(意見交換会)
 - ・子育て世代向けの運賃割引制度の導入

南丹市地域公共交通計画策定に係るアンケート調査の実施方針について
(南丹市の公共交通に関するアンケート調査 調査計画書)

1. 調査の目的

住民の移動実態及び公共交通へのニーズ等を把握するために実施する。

2. 調査の対象

- ・園部地区、八木地区にお住まいの18歳以上の方を対象とする。
- ・調査票は日本語で作成する。
- ・調査対象の抽出は、住民基本台帳より無作為抽出する。

3. 調査方法

- ・郵送配布、郵送回収
- ・回収先は、一般社団法人システム科学研究所とする。
- ・回答者の利便性を考慮し、WEB回答ページ（QRコードによる）を作成する。

4. 配布数

(配布数を検討するための条件)

- ・公共交通を必要としているのは主に高齢者であるため、高齢者と非高齢者を区分して分析できるようにする。
- ・人口の少ない地域においても、適切に移動実態やニーズ等を分析できるようにする。

(配布予定数)

- ・配布数は表のとおりであり、全体で2,500人への配布を予定している。
- ・八木地区の神吉は、調査対象地域の中で人口が少なく抽出率が高くなるため、全世帯配布とする。
- ・配布地域別・年齢層毎に、35件の回収を目指し、配布数を計画する。
- ・回収率は30%と想定とする。

表 4-1 アンケートの配布数（案）

地区割 (旧小学校区)	国勢調査人口(R2)			配布数（抽出数）			回収数（回収率を3割と仮定）			抽出率	
	20～ 64歳	65歳 以上	合計	20～ 64歳	65歳 以上	合計	20～ 64歳	65歳 以上	合計	20～ 64歳	65歳 以上
園部 元町	515	422	937	117	117	234	35	35	70	22.7%	27.7%
園部 元村	4,623	1,690	6,313	116	116	232	35	35	70	2.5%	6.9%
園部 元桐	1,876	1,102	2,978	116	116	232	35	35	70	6.2%	10.5%
園部 川辺	313	262	575	117	117	234	35	35	70	37.4%	44.7%
園部 摩気	616	611	1,227	117	117	234	35	35	70	19.0%	19.1%
園部 西本梅	491	440	931	117	117	234	35	35	70	23.8%	26.6%
八木 八木	1,101	822	1,923	117	117	234	35	35	70	10.6%	14.2%
八木 富本	906	1,096	2,002	117	117	234	35	35	70	12.9%	10.7%
八木 吉富	518	479	997	117	117	234	35	35	70	22.6%	24.4%
八木 新庄	416	424	840	117	117	234	35	35	70	28.1%	27.6%
八木 神吉	132	164	296	82	82	164	25	25	49	(全戸配布)	
合計	11,507	7,512	19,019	1,250	1,250	2,500	375	375	749	10.9%	16.6%

5. 配布物

- ・ 発送用封筒：角 2 封筒
- ・ 返信用封筒：長 3 封筒
- ・ 調査票：A4 用紙 9 枚（調査依頼状の頁も含む）

6. 実施スケジュール

- ・ 調査票発送：9 月 4 日頃
- ・ 回答の締切：9 月 18 日（月・祝）

7 月		8 月				9 月			
7/24～	7/31～	8/7～	8/14～	8/21～	8/28～	9/4～	9/11～	9/18～	9/25～
				★協議会					
調査票作成・確認・修正／宛名抽出とラベル作成									
					印刷・封入				
						発送			
						アンケート期間（9/4～9/18）			
								データ入力・集計	

7. 主な調査項目

- ・ 別紙（調査票案）を参照

南丹市の公共交通に関するアンケート調査

～アンケート調査へのご協力をお願い～

南丹市にお住まいの皆様へ

本アンケート調査は、南丹市内にお住まいの皆様を対象に、日常生活での公共交通の利用状況や将来の公共交通のあり方などについてお聞きし、公共交通に関する計画づくりや施策検討の基礎資料として活用するために実施するものです。

ご多用のところ、誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

南丹市地域公共交通活性化協議会
※事務局：南丹市地域振興部地域振興課

■ご回答にあたって

- ・この調査は、個人を対象にしていますので、**お送りした封筒のあて名の方**にご記入をお願いします。（調査の対象は、令和5年8月1日時点の住民基本台帳に登録されている情報に基づき、市民の皆さまの中から無作為に抽出しています）
 - ・ご回答は、このアンケート調査票に直接回答いただくか、パソコンやスマートフォンから回答をお願いいたします。→
- ※URL：<https://issr-kyoto.sakura.ne.jp/nantan/enquete.php>
- ・ご回答は、各質問の選択肢から該当する番号に○印をつけてください。
 - また、（ ）や_____内等には、具体的な数字や文字をご記入ください。
 - ・調査結果の取り扱いについては、この調査以外の目的に使用することはありません。
 - また、統計的に集計しますので、個人を特定することはありません。



■アンケート調査票の回収について

回答期限 令和5年9月18日（月）まで

- ・ご記入いただいたアンケート調査票は、本調査票に同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

■お問い合わせ先

- ・本調査についてご不明な点がございましたら、下記にお問い合わせください。

（調査実施機関）

南丹市地域公共交通活性化協議会

【事務局】 南丹市地域振興部 地域振興課 交通対策係

TEL:0771-68-0019 FAX:0771-63-0653

（調査実施委託機関）

一般社団法人システム科学研究所（担当：柿菌、上田、高橋）

TEL:075-221-3022 FAX:075-231-4404

1. あなたご自身のことについておたずねします。

①性別	1. 男性	2. 女性	3. その他	
②年齢	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
	5. 50歳代	6. 60～64歳	7. 65～69歳	8. 70～74歳
	9. 75～79歳	10. 80～84歳	11. 85～89歳	12. 90歳以上
③お住まい (郵便番号)	〒 □□□□-□□□□			
④職業	1. 会社員・公務員	2. 自営業・自由業（農業含む）	3. 専業主婦・主夫	
	4. パート・アルバイト	5. 学生	6. 無職	
⑤運転免許 保有状況	1. 自動車の運転免許を持っていて、普段運転する 2. 自動車の運転免許を持っているが、普段運転しない 3. 二輪・原付の運転免許を持っている 4. 運転免許はすでに返納した 5. 運転免許を持ったことがない			
	4. 運転免許はすでに返納した 5. 運転免許を持ったことがない			
⑥運転免許の 返納予定	1. 当分、運転免許を返納する予定はない → ⑦へ 2. _____年以内、または、_____歳になったら返納しようと思う → ⑦へ 3. わからない、迷っている			
	免許返納を迷っている理由（あてはまる全てに○） 1. 公共交通が不便だから 2. 公共交通の使い方が分からないから 3. 活動の範囲が限定されてしまうから 4. 身分証明が不便になるから 5. その他（ ）			
⑦あなたが自由に 使える車の有無	1. 自分の自動車がある 2. 家族で共有の自動車がある（主に自分が使用） 3. 家族で共有の自動車がある（主に自分以外が使用） 4. 自動車はない			

2. 通勤・通学での移動についておたずねします。

問1 普段、通勤・通学のために外出されますか。（1つに○）

1. はい → 問2へ

2. いいえ → 問4へ

問2 行き先をお答えください。（1つに○）

1. 自宅（自営業等）

2. 南丹市内 → (1. 園部地区

2. 八木地区

3. 日吉地区

4. 美山地区)

3. 南丹市外 → (

市・区・町・村)

問3 南丹市内で利用する移動手段※をお答えください。（あてはまるもの全てに○）

※市外で利用する移動手段（例：京都市・亀岡市内の電車やバス）は回答不要です。

1. 徒歩

2. 自転車

3. バイク・原付

4. 自動車（自分で運転）

5. 自動車（家族等の送迎）

6. タクシー

7. JR（山陰本線、嵯峨野線）

8. 西日本JRバス

9. 京阪京都交通バス

10. 南丹市営バス

11. ぐるりんバス

12. デマンドバスそよかぜ号

13. その他（

）

3. 買い物（食料品や日用品）での移動についておたずねします。

問4 食料品や日用品の買い物での外出頻度をお答えください。（1つに○）

- | | | | |
|-------------|-----------|-------------|--------------|
| 1. 休日を含む毎日 | 2. 平日のみ毎日 | 3. 週に3~4回程度 | 4. 週に1~2回程度 |
| 5. 月に2~3回程度 | 6. 月に1回以下 | 7. 週末のみ | 8. 外出しない→問7へ |

問5 よく利用する買い物先を下の選択肢よりお選びください。選択肢「5」~「10」を選んだ場合は、具体的な店舗名も可能な範囲でご回答ください。（最大3つまで）

（記入例：●●スーパー ▲▲店、ドラッグストア○○ ××店）

買い物先①（最も利用が多い）		買い物先②（2番目に利用が多い）		買い物先③（3番目に利用が多い）	
選択肢	店舗名	選択肢	店舗名	選択肢	店舗名

<選択肢>

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. フレッシュバザール園部店 | 2. スーパーマツモト新そのべ店 |
| 3. エーコープ園部店 | 4. スーパーマツモト八木店 |
| 5. 園部地区内のその他のスーパー | 6. 八木地区内のその他のスーパー |
| 7. 日吉地区内のその他のスーパー | 8. 美山地区内のその他のスーパー |
| 9. 亀岡市内のスーパー | 10. 南丹市・亀岡市以外のスーパー |

① 最も利用が多い買い物先の利用頻度（1つに○）

- | | | | |
|-------------|-----------|-------------|-------------|
| 1. 休日を含む毎日 | 2. 平日のみ毎日 | 3. 週に3~4回程度 | 4. 週に1~2回程度 |
| 5. 月に2~3回程度 | 6. 月に1回以下 | 7. 週末のみ | |

② 最も利用が多い買い物先への移動手段（あてはまるもの全てに○）

- | | | | |
|-----------------|-----------------|------------------|---------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク・原付 | 4. 自動車（自分で運転） |
| 5. 自動車（家族等の送迎） | 6. タクシー | 7. JR（山陰本線、嵯峨野線） | |
| 8. 西日本JRバス | 9. 京阪京都交通バス | 10. 南丹市営バス | 11. ぐるりんバス |
| 12. デマンドバスそよかぜ号 | 13. 社会福祉協議会等の送迎 | | |
| 14. その他（ | | | ） |

③ 最も利用が多い買い物先へ、普段は何時頃によく到着していますか。（1つに○）

- | | | |
|-----------------|-----|---------------|
| 1. 午前・午後（ | ）時（ | ）分頃に到着することが多い |
| 2. 特に時間は決まっていない | | |

④ 最も利用が多い買い物先へ、本来は何時頃に到着したいですか。（1つに○）

- | | | | |
|----------------------|---------------|-----------------|--|
| 1. 普段よく到着する時間帯と同じ | | | |
| 2. 午前・午後（ | ）時（ | ）分頃に到着したい | |
| 3. 午前ならいつでもよい | 4. 午後ならいつでもよい | 5. 日中ならいつでもよい | |
| 6. 曜日によって到着したい時間が異なる | | 7. 到着したい時間は特にない | |

問6 本当は行きたいけれど公共交通が不便なため行くことができない買い物先（南丹市、京丹波町、亀岡市内に限る）はありますか。ある場合は、その店舗名をご回答ください。（1つに○）

（記入例：●●スーパー ▲▲店、ドラッグストア○○ ××店）

- | | |
|------------|---|
| 1. ある（店舗名： | ） |
| 2. 特にない | |

4. 通院での移動についておたずねします。

問7 定期的な通院(持病の治療や薬の処方等)での外出頻度をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-----------|
| 1. 週に3回以上 | 2. 週に1~2回程度 | 3. 月に2~3回程度 | 4. 月に1回以下 |
| 5. 数ヶ月に1回程度 | 6. それ未満 | 7. 外出しない→ | 問10へ |

問8 よく利用する通院先を下の選択肢よりお選びください。(最大2つまで)

通院先①(最も利用が多い)	通院先②(2番目に利用が多い)

<選択肢>

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 京都中部総合医療センター(南丹病院) | 2. 明治国際医療大学附属病院 |
| 3. 京北病院 | 4. 園部病院 |
| 5. 南丹市内のその他の医療機関 | 6. 亀岡市内の医療機関 |
| 7. 南丹市・亀岡市以外の医療機関 | |

① 最も利用が多い通院先の利用頻度(1つに○)

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-----------|
| 1. 週に3回以上 | 2. 週に1~2回程度 | 3. 月に2~3回程度 | 4. 月に1回以下 |
| 5. 数ヶ月に1回程度 | 6. それ未満 | | |

② 最も利用が多い通院先への移動手段(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|-----------------|-----------------|------------------|---------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク・原付 | 4. 自動車(自分で運転) |
| 5. 自動車(家族等の送迎) | 6. タクシー | 7. JR(山陰本線、嵯峨野線) | |
| 8. 西日本JRバス | 9. 京阪京都交通バス | 10. 南丹市営バス | 11. ぐるりんバス |
| 12. デマンドバスそよかぜ号 | 13. 社会福祉協議会等の送迎 | | |
| 14. その他() | | | |

③ 最も利用が多い通院先へ、普段は何時頃によく到着していますか。(1つに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 午前・午後()時()分頃に到着することが多い |
| 2. 特に時間は決まっていない |

④ 最も利用が多い通院先へ、本来は何時頃に到着したいですか。(1つに○)

- | | | |
|-------------------------|-----------------|---------------|
| 1. 普段よく到着する時間帯と同じ | | |
| 2. 午前・午後()時()分頃に到着したい | | |
| 3. 午前ならいつでもよい | 4. 午後ならいつでもよい | 5. 日中ならいつでもよい |
| 6. 曜日によって到着したい時間が異なる | 7. 到着したい時間は特にない | |

問9 本当は行きたいけれど公共交通が不便なため行くことができない通院先(南丹市、京丹波町、亀岡市内に限る)はありますか。ある場合は、その医療機関名をご回答ください。(1つに○)

(記入例:●●病院、○○クリニック)

- | |
|----------------|
| 1. ある(医療機関名:) |
| 2. 特にない |

5. 趣味、娯楽、サークル活動、福祉・地域活動等での移動についておたずねします。

問10 普段、趣味、娯楽、サークル活動、福祉・地域活動等のための外出先について、交通手段別にお答えください。このような外出をされない方は、問11へお進みください。

① 公共交通（JRやバス、タクシー等）を利用して最もよく行く施設名をお答えください。

② 公共交通以外（自動車や徒歩、自転車等）を利用して最もよく行く施設名をお答えください。

6. 普段の送迎についておたずねします。

問11 あなたは現在、家族等（小学生以上）を駅や学校等まで送迎していますか。（1つに〇）

1. 行き・帰りの両方とも 2. 行きのみ 3. 帰りのみ 4. 送迎しない → 問12へ

① 主な送迎先（1つに〇）

1. 駅（駅名： ） 2. バス停（バス停名： ）
3. 学校 4. 医療機関 5. その他（ ）

② 家族等を送迎することに対して、負担に感じることはありますか。（1つに〇）

1. かなり負担を感じる 2. やや負担を感じる
3. あまり負担に感じない 4. 全く負担に感じない

7. 公共交通の利用状況と満足度についておたずねします。

問12 JR（山陰本線、嵯峨野線）の利用状況をお答えください。

① JR（山陰本線、嵯峨野線）の利用頻度（1つに〇）

1. 休日を含む毎日 2. 平日のみ毎日 3. 週に3~4回程度 4. 週に1~2回程度
5. 月に2~3回程度 6. 週末のみ 7. ほとんど利用しない → P5の⑥へ

② JR（山陰本線、嵯峨野線）を利用する際の最も多い利用目的（1つに〇）

1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院
5. 趣味、娯楽、サークル活動、福祉・地域活動等 6. その他（ ）

③ 最もよく利用するJR（山陰本線、嵯峨野線）の駅（1つに〇）

1. 八木駅 2. 吉富駅 3. 園部駅 4. 船岡駅
5. 日吉駅 6. 鍼灸大学前駅 7. 胡麻駅 8. その他（ ）

④ 上記の最もよく利用する駅までの移動手段（1つに○）						
1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク・原付				
4. 自動車（自分で運転）	5. 自動車（家族等の送迎）	6. タクシー				
7. 西日本 JR バス	8. 京阪京都交通バス	9. 南丹市営バス				
10. ぐるりんバス	11. デマンドバスそよかぜ号	12. 社会福祉協議会等の送迎				
13. その他（		）				
⑤ JR（山陰本線、嵯峨野線）について、次の1）～12）の項目の満足度をお答えください。（それぞれあてはまるもの1つに○）						
項目	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	該当しない
1) 1日の運行本数（通勤・通学時間帯）	1	2	3	4	5	6
2) 1日の運行本数（昼間時間帯）	1	2	3	4	5	6
3) 始発時刻	1	2	3	4	5	6
4) 終発時刻	1	2	3	4	5	6
5) バスとの乗り継ぎの利便性	1	2	3	4	5	6
6) 運行時刻の分かりやすさ	1	2	3	4	5	6
7) 駅構内の待合空間の快適性	1	2	3	4	5	6
8) 駅前の駐車場・駐輪場の数	1	2	3	4	5	6
9) バス・タクシー乗り場への案内表示	1	2	3	4	5	6
10) 駅構内やアプリ(WESTER)での情報提供	1	2	3	4	5	6
11) 運賃	1	2	3	4	5	6
12) 総合評価	1	2	3	4	5	6
⑥ P4の①で「7. ほとんど利用していない」と回答した方にお聞きします。JR（山陰本線、嵯峨野線）を利用していない理由を教えてください。（1つに○）						
1. 使う必要がないから→問13へ			2. 本当は使いたいが、使うことができないから			
⑦ ⑥で「2. 本当は使いたいが、使うことができないから」と回答した方にお聞きします。JR（山陰本線、嵯峨野線）を使うことができない理由を教えてください。（あてはまるもの全てに○）						
1. 駅行きのバスの運行本数が少ないから			2. 鉄道の運行本数が少ないから			
3. バス同士の乗り継ぎが悪いから			4. 鉄道との乗り継ぎが悪いから			
5. バスの路線や時刻表がわからないから			6. 鉄道の路線や時刻表がわからないから			
7. バスの運賃が高いから			8. 鉄道の運賃が高いから			
9. 駅前の駐輪場・駐車場が少ないから			10. バスで園部駅まで直通で行けないから			
11. その他（						）

問13 バス(西日本 JR バス、京阪京都交通バス、南丹市営バス、ぐるりんバス、デマンドバスそよかせ号)の利用状況をお答えください。

① バスの利用頻度 (1つに○)						
1. 休日を含む毎日	2. 平日のみ毎日	3. 週に3~4 回程度	4. 週に1~2 回程度			
5. 月に2~3 回程度	6. 週末のみ	7. ほとんど利用しない → P7の⑤へ				
② バスを利用する際の最も多い利用目的 (1つに○)						
1. 通勤	2. 通学	3. 買い物	4. 通院			
5. 趣味、娯楽、サークル活動、福祉・地域活動等 6. その他()						
③ 最もよく利用するバスの名称、利用区間、バス同士の乗り継ぎの有無						
最もよく利用するバスの名称 ※系統名は、分かる範囲でお答えください ※バス同士で乗り継ぐ場合は全ての系統名をご記入ください			(記入例：ぐるりんバス市街地循環線と 西日本 JR バス園福線)			
利用区間 (バス停名でお答えください)			() ~ ()			
バス同士の乗り継ぎ (1つに○)			1. する(乗り継ぎ場所:) 2. しない			
④ 最もよく利用するバス系統について、次の1)~16)の項目の満足度をお答えください。(それぞれあてはまるもの1つに○)						
項目	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	該当しない
1) 運行ルート	1	2	3	4	5	6
2) 1日の運行本数	1	2	3	4	5	6
3) 自宅の最寄りバス停の位置(距離)	1	2	3	4	5	6
4) 目的地の最寄りバス停の位置(距離)	1	2	3	4	5	6
5) 始発時刻	1	2	3	4	5	6
6) 終発時刻	1	2	3	4	5	6
7) バス車両の乗り降りのしやすさ	1	2	3	4	5	6
8) 運行ルートや運行時刻の分かりやすさ	1	2	3	4	5	6
9) バス停留所の待ち環境の快適性	1	2	3	4	5	6
10) 運賃	1	2	3	4	5	6
11) バス車両の乗り降りのしやすさ	1	2	3	4	5	6
12) 駅までの移動のしやすさ	1	2	3	4	5	6
13) 買い物先までの移動のしやすさ	1	2	3	4	5	6
14) 通院先までの移動のしやすさ	1	2	3	4	5	6
15) JRとの乗り継ぎの利便性	1	2	3	4	5	6
16) 総合評価	1	2	3	4	5	6

⑤ P6の①で「7. ほとんど利用していない」と回答した方にお聞きします。バスを利用していない理由を教えてください。(1つに○)	
1. 使う必要がないから → 問14へ	2. 本当は使いたいが、使うことができないから
⑥ 上記の⑤で「2. 本当は使いたいが、使うことができないから」と回答した方にお聞きします。バスを使うことができない理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)	
1. 家からバス停まで遠いから	2. 目的地周辺にバス停がないから
3. 運行本数が少ないから	4. 時刻通りに運行していないから
5. JRとの乗り継ぎが悪いから	6. バス同士の乗り継ぎが悪いから
7. 早朝に運行していないから	8. 深夜に運行していないから
9. 土日祝に運行していないから	10. ルートや時刻表が分からないから
11. 利用方法や予約方法が分からないから	12. 社会福祉協議会等の送迎と比べて運賃が高いから
13. その他 ()	
⑦ デマンドバスそよかぜ号は現在、八木地区と日吉地区と美山地区で運行しています。デマンドバスそよかぜ号についてどの程度ご存じですか。(1つに○)	
1. 運行内容(時刻表、運行ルート)や予約方法、利用方法を知っている	} → ⑧へ
2. 名称のみ知っている(運行内容などは知らない)	
3. 名称も運行内容も知らない	
⑧ デマンドバスそよかぜ号は、JR 駅を中心として運行していますが、駅以外で立ち寄るべき場所や施設があればお答えください。差し支えなければ、具体的な施設名称等もお答えください。	
1. 駅中心の運行でよい	
2. 駅以外の場所や施設を運行するのが良い → 具体的な施設名称等 ()	
⑨ デマンドバスそよかぜ号の利用にあたって、運行内容や予約・利用方法について、十分な情報提供があれば利用したいと思いますか。(1つに○)	
1. 情報提供があれば利用したい	2. 情報提供があっても利用しない
3. 情報提供がなくても利用する	

問14 JR・バス以外の公共交通(タクシー、福祉有償運送等)の利用状況をお答えください。

① JR・バス以外で利用している公共交通(あてはまるもの全てに○)	
1. タクシー	2. 社会福祉協議会による送迎
3. 南丹市福祉シルバー人材センターによる送迎	4. その他 ()
5. ほとんど利用しない → 問15へ	
② ①のうち最もよく利用する移動手段についてお答えください。	
最も利用する移動手段 (1つに○)	1. タクシー 2. 社会福祉協議会による送迎 3. 南丹市福祉シルバー人材センターの送迎 4. その他 ()
最もよく利用する移動手段の 利用頻度(1つに○)	1. 休日を含む毎日 2. 平日のみ毎日 3. 週に3~4回程度 4. 週に1~2回程度 5. 月に2~3回程度 6. 週末のみ
最もよく利用する移動手段で よく行く市内の施設名	(記入例: ●●病院、▲▲駅)

8. 公共交通の課題に対する意識や考え方についておたずねします。

問15 市内の公共交通に関する各課題について、あなたが思う自分自身への重要度と緊急度をお答えください。(それぞれあてはまるもの1つに○)

市内の公共交通に関する課題	①重要度					②緊急度				
	あなた自身の日常生活での移動にとって重要なことか					課題を早急に解決する必要があるのか				
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	緊急度が高い	やや緊急度が高い	どちらともいえない	やや緊急度が低い	緊急度が低い
1) 昼間のバスの運行本数の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2) 18時以降のバスの運行本数の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3) 駅まで移動しやすい公共交通の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4) 買い物がしやすい公共交通の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5) 通院がしやすい公共交通の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6) 園部駅を中心とした公共交通網の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7) 八木駅を中心とした公共交通網の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8) 公共交通同士の乗換のしやすさの向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9) 市内4地区間の移動のしやすさの向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10) 妊婦や子育て家庭のためのサービス充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11) 駅やバス停での案内のわかりやすさ向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12) 園福線の運行本数確保(コロナ前に戻す)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問16 上記問15の公共交通の課題が解消した場合、公共交通を利用したいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 課題が解消したら利用したい | 2. 課題が解消しても利用しない |
| 3. 課題の解消に関係なく利用する | |

問17 人口が減少する中で、市の財政は厳しい状況にあります。仮に、市内の公共交通サービス(運行本数など)の維持が困難になった場合、どのような対応が望ましいと思いますか。(あてはまるすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 行政負担(公共交通に対する市の予算)を増やして、サービスを維持する(=公共交通以外に対する市の予算は減る) |
| 2. 利用者負担(運賃)を増やして、サービスを維持する |
| 3. 行政負担や利用者負担を増やさず、サービスを低下させる(=運行費用を下げる) |

問18 市内の公共交通の維持や利便性向上、利用促進(特に子どもや若者が利用したくなるような案)などに関してご意見がございましたら、ご記入ください。

--

南丹市地域公共交通計画策定に係るワークショップの実施方針について

1. 実施の目的

公共交通利用者などのサービス需要側（利用者側）が感じている公共交通の課題等を把握するために、公共交通を利用する関係団体等（市民）との意見交換会を実施する。

2. 実施方法・対象者

- ・日吉地区・美山地区はインタビュー形式での意見交換会を実施する。インタビューの対象は、各地域の振興会とする。
- ・園部地区・八木地区は、ワークショップ形式での意見交換会とし、多様な意見を収集することを目的とし実施する。

実施方法	地区	ワークショップの参加を呼びかける主な地域やインタビュー対象地域	対象人数	参加者
ワークショップ	園部	るり溪温泉経由路線を除くバス沿線地域	1地区あたり 10～20名程度 (2～6グループで実施)	老人クラブ、民生委員、社会福祉協議会、児童委員、PTA、振興会、子育て世帯、高校生等
	八木	デマンドバス及び神吉線運行地域		
インタビュー	日吉	各振興会（胡麻、世木など）	1振興会あたり	振興会メンバー
	美山	各振興会（知井、大野、平屋、鶴ヶ岡、宮島）	1～3名程度	

3. 実施時期等

- ・令和5年8月下旬～9月末頃を予定
- ・1地区1回実施
- ・実施時間はワークショップ形式は1回120分程度、インタビュー形式は1回60分程度を想定。

4. ワorkshop形式の実施方針案（園部地区・八木地区）

以下の流れでワークショップを実施する（合計120分）。

項目	時間	内容
はじめに	5分	開催趣旨、ワークショップの進め方等の説明
グループワーク①	20分	①「普段の外出・公共交通利用の状況」 ・普段どこにおでかけしているか（目的別） ・上記へ行くのに公共交通を使っているか →使っている人は何が不便・不満か →使っていない人は何がネックになっているか
グループワーク②	20分	②「現状の公共交通で困っている点、地域公共交通の課題」 ・公共交通利用者が不便や不満を感じている点 ・公共交通を使いたいが使えない理由や人（地域）
発表・共有	10分	グループワークで集まった意見を発表
中間まとめ	10分	グループワーク③に向けた①②の振り返り
休憩	10分	
グループワーク③	30分	③「公共交通サービスの改善の案（公共交通利用につながる案）」 ・新たな公共交通利用を生み出す施策のアイデア等
発表・共有・最終まとめ	15分	グループワークで集まったアイデア・意見を発表、全体の振り返り

5. インタビュー形式の実施方針案（日吉地区・美山地区）

以下の内容をグループインタビュー形式でヒアリングする。

- ①公共交通利用者の特徴、コロナ禍による利用状況の変化
 - ・地域住民の日常的な移動（主な移動目的、目的地、移動手段、移動時間帯、属性）
 - ・地域住民の公共交通の利用実態
 - ・コロナ禍前後による利用状況の変化
- ②現状の公共交通で困っている点、地域公共交通の課題
 - ・公共交通利用者が不便や不満を感じている点
 - ・公共交通を使いたいが使えない理由や人（地域）
- ③「公共交通サービスの改善の案（公共交通利用につながる案）」
 - ・移動に関する問題を解決するために地元で取り組んでいること、今後取り組めること
 - ・新たな公共交通利用を生み出す施策のアイデア

南丹市地域公共交通活性化協議会 （敬称略・順不同）

	氏 名	備 考
1	仲 村 学	南丹市議会 総務常任委員会 委員
2	小 林 毅	南丹市議会 総務常任委員会 委員
3	奥 村 安 治	園部町地域選出
4	橋 本 みゆき	八木町地域選出
5	吉 田 辰 男	日吉町地域選出
6	前 田 好 久	美山町地域選出
7	川 勝 久美子	南丹市女性会 副会長
8	荻 野 真 吾	南丹市PTA連絡協議会 理事
9	榎 原 克 幸	南丹市社会福祉協議会 事務局長
10	大 牧 秀 夫	南丹市老人クラブ連合会 副会長
11	世 木 佳 文	南丹市校園長会 中学校代表 殿田中学校長
12	森 昭 夫	南丹市福祉シルバー人材センター 副理事長
13	佐 野 清	南丹市身体障害者福祉会 会長
14	阪 本 和 宏	京阪京都交通株式会社 代表取締役社長
15	中 薮 裕 介	京都府タクシー協会
16	俣 野 健 二	京阪京バス労働組合 執行委員長
17	稲 留 健一郎	近畿運輸局 京都運輸支局 首席運輸企画専門官
18	中 西 正 樹	京都府南丹土木事務所 施設保全課長
19	三 木 英 昭	京都府南丹警察署 交通課長
20	平 康 夫	京都府南丹広域振興局 地域連携・振興部 企画・連携推進課長
21	松 中 亮 治	京都大学大学院 工学研究科 准教授
22	山 内 守	南丹市 副市長
23	國 府 常 芳	南丹市 教育長

（令和5年8月22日現在）